

海外安全対策情報（2022年4月～6月）

在ベネズエラ日本国大使館

1 社会・治安情勢

当地NGOの統計によれば、2022年4月～6月の間に発生したデモ件数は1,983件で、前年同期（1,887件）比で約5%増加、同期間中におけるデモの最中の死者数は0人でした。

2022年上半期、デモ活動の理由として最も多かったのは、経済的・社会的・文化的・環境的権利（DESCA）の要求に関するもので全体の73%を占めました。このカテゴリーの中で、もっとも多かったのが労働権を要求するもので全体の42%を占めました。労働者の主な要求は、給料や公共サービスの改善に関するものでした。

一方、市民権・政治的権利（DCP）の要求は、全体の27%を占めました。政党関係者は、最高裁判所（TSJ）裁判官の任命に反対を表明し、マドゥーロ体制が進める政策を拒否するための街頭行動にも参加しています。

2022年上半期、国内14州で52件のデモ活動が治安当局によって抑圧され、合計6人のデモ参加者が逮捕されました。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）全般

当地治安当局によれば、2022年4月～6月の犯罪発生認知総件数は、前年同期比で約3%の増加にとどまり、昨年と同水準で推移しています。カラカス首都区では、前年同期比で約18%増加しています。

（2）各論

同当局によれば、全国的に殺人事件や強盗事件、誘拐事件等の主要事件の発生件数は、大きく減少しており、この傾向は、カラカス首都区も同様です。主要事件がそれぞれ減少しているにも関わらず、総犯罪認知件数が増加している理由は、その他の犯罪認知件数が全体的に増加しているからだと分析されています。

（3）邦人及び邦人以外の被害事案

なし

3 テロ・爆弾事件発生状況

国境沿いでは、みかじめ料を払わない商店等に爆発物を投げ込む事案が散発して負傷者も出ているもようです。引き続き、国境沿いの地域へは近づかないようにしてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当地治安当局によれば、2022年4月～6月中、地方都市において身代金目的誘拐事件が発生しています。外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。